

第3回野々市ライオンズクラブ旗争奪学童軟式野球大会
兼 第47回石川県学童軟式野球選手権大会トパテック杯 野々市支部予選
開催要項

野々市市学童野球連盟

主催 野々市ライオンズクラブ・石川県学童野球連盟
主管 野々市市学童野球連盟
共催 野々市市野球協会
後援 北國新聞社・野々市市教育委員会

試合会場 「野々市市民野球場」 ※ 7/10日(日)会場変更の場合あり
開門 8:00(全日程)

大会日程

○ 7月10日(日) / 【一回戦】 試合開始予定時刻 9:15
(運営委員集合時間 7:00)

※ 7月3日開催予定の「寿野球」の試合が雨天順延した場合、
会場は「野々市中央公園運動広場」に変更いたします。

○ 7月17日(日) / 【準決勝戦】 試合開始予定時刻 9:00・11:00
(運営委員集合時間 7:30)

○ 7月18日(月/祝) / 【決勝戦】 試合開始予定時刻 9:00
(運営委員集合時間 7:30)

○ 予備日 7月24日(日)

開会式 8:15分集合。「プラカード」用意。
8:30分開始予定
入場行進・選手宣誓実施 (選手間の間隔をあけて行う。)

前年度優勝チーム 「富陽学童野球クラブ」 優勝旗
前年度準優勝チーム「館野学童野球クラブ」 準優勝トロフィー
(開会式当日、賞典返還願います。)

※ 開会式アナウンス担当の方(前年度優勝 富陽学童野球クラブ)は
8:00に本部席までお越しください。

- ※ 入場の際、運営委員の支持に従ってください。ご協力お願いします。
- ※ 入場の際、両サイド入口に消毒液を設置しますので手指消毒後、入場して下さい。
(入場者全員。観客(保護者)も含む。運営ガイドライン遵守。)

競技方法 トーナメント戦で行う。2022年公認野球規則及び全日本軟式野球連盟「少年野球(③学部)に関する事項」並びに一部、野々市市学童野球連盟ローカルルールを適用し、試合球は公認J級とする。
(投球数制限ガイドライン・申告敬遠 適用。一般用ホームベース使用)

- ※ 準決勝2試合目のメンバー交換は3回裏終了時に指定場所にて行う。
- ※ 各チームは試合前に「健康チェックシート」を本部に提出する。
- ※ 各チームは試合終了後、使用したベンチ内の消毒をして退場する。
- ※ 攻撃時間が20分を超過した場合、試合状況を配慮したうえ、試合を中断し、5分間の給水時間をとる場合がある。(本部から指示)
(当日の気象状況により、事前に定めたイニングに実施する場合もある。)
- ※ 熱中症予防対策とし、両ベンチに「健康管理者」を各一名おく。(ホルダー着用)
(試合終了後、ホルダーを本部に返還する。)

表彰 優勝チーム 表彰状・優勝旗・激励金(市野球協会・市学童野球連盟)
準優勝チーム 表彰状・準優勝トロフィー

抽選会 6月28日(火) 19:00~ 野々市市民体育館1F 会議室
(代理抽選は任意とする。)

参加登録料 7,000円 (抽選会当日に申し受けます。)

選手登録申請〆切 6月26日(日) メールにて事務局まで申請願います。

大会開催期間中、「参加選手」並びに「チーム関係者」からコロナ陽性反応が判明した場合、すみやかに当連盟に報告願います。

その旨、連盟にて協議し、対処、指導いたします。

【大会開催に関する参加チームへの注意喚起】

コロナ感染防止対策

- 野球場施設内は関係者以外、立入り禁止。（公園内のトイレ使用）
但し、不慮の事故（熱中症など）が発生した場合、立入りを許可する。
- ベンチは各チームのテントを隣接して試合を行う。
- 試合開始前並びに試合終了後の挨拶は両サイドライン上にて整列して行う。
整列時、審判4名はマスク着用。
- 試合中、ベンチ内では、指導者並びに選手のマスク着用は任意とし状況により指導者の判断によるものとする。
- チーム内での野球道具（ミット・ヘルメット等）の共有はしない。
共有する場合は各チームで消毒して使用させる。各チームは消毒液を常備。
- 球審担当者は「黒マスク」又は「フェイスガード」を装備する。
こまめな給水をとる。塁審のマスク着用は任意とする。
- 飲料水の飲み残しはグラウンド内での排水は厳禁。
- アナウンスは、各チーム1名ずつが望ましい。
- 選手並びに保護者は常に適切な間隔をとるよう留意する。（食事・会話など）
- 野球場正面玄関前の「3密」は避ける。（喫煙による灰皿は設置いたしません。）
- 感染防止の観点から大会開催中は競技役員の指示に遵守する。
- 観客（保護者）はマスク着用とし、大声での「声援」「会話」は控えることに留意。

熱中症防止対策

- 指導者はベンチ内での全選手の健康状態に関して常に注意を払う。
症状が判明した場合、即座に本部に報告する。
- 選手は、通常の練習とは異なり試合では、緊張状態のため通常の2倍程度（量は適宜）の水分補給をとる。
- 頭部より首筋を冷却することで、脳に送る血液を冷やし、効果的。
- クエン酸・アミノ酸の摂取が必要不可欠。

※ 参加チーム・来場者は「感染防止策」並びに「熱中症予防策」として
実施可能な対応をとるようお願いいたします。

上記の事項は状況により緩和・変更の場合がありますのでご了承願います。